

平成 30 年度事業報告

平成 30 年 4 月 1 日から
平成 31 年 3 月 31 日まで

I 概 要

超高齢化社会を迎えて、元気で経験豊かで行動的な高齢者が急増しています。日本の高齢者の就業比率は、欧米先進諸国と比較して極めて高いが、今後「一億総活躍社会」の実現に向けて、高齢者が働きやすい環境整備が重要とされます。65 歳以上の高齢者の半数以上は就業を希望し、70 歳以上でも 3 分の 1 程度が就業を希望しているが、現実には必ずしも就業できていない。特に 65 歳以上では、「シルバー人材センターなどの臨時・短期的な仕事」や「ボランティア」を希望する人が多い。シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき会員が主体となって運営する組織であり、定年退職者など的高齢者に、「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供するとともに、ボランティア活動などの社会活動などの社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の現実と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献してきました。シルバー人材センターが提供する仕事は、地域性にもよりますが、植木・草取り・清掃・管理等の軽作業が中心であり、ホワイトカラー層の受け皿になりにくいといった状況でしたが、コンビニエンスストアなど流通関係業務や遊休地を有効活用した農作業の取り組みが始まりつつあります。これを受けて政府は、要件の緩和を行い、派遣と有料職業紹介については、一定の要件を満たせば週 40 時間までの就業を可能に致しました。今後は、労働力不足が課題となっている介護・育児の分野へ高齢者を活用しての取り組みが始まりつつあります。今後、高齢者が就業しやすい就業環境・就業条件の開発、高齢者の能力を活用する産業の創造、高齢者が参加に意義を見いだす事業の創造が必要になってくると考えられます。

II 事業実績

会員数においては、目標数値 350 名のところ 334 名であり、その差は 16 名と目標とした数値には届かなかったものの、女性会員主体の「ひまわり倶楽部」の飛躍的な活動により、若干ではありますが女性会員の増加につながりました。また県発行機関誌「あぷろぐ」にも、ひまわり倶楽部の写真・記事が掲載され、また派遣分野においては鬼平江戸処「屋台連」で働いている会員の写真・記事も掲載され、この 1 年で羽生市シルバー人材センターの活動状況が県内外のセンター等に大きな宣伝と影響を与えました。以上の活動により、平成 30 年度の事業実績は大幅な伸びを示し、請負事業実績は、204,883,599 円で平成 22 年度以来の 2 億円達成となりました。前年度の実績に対し

14,148,886 円の増額。その背景には、新規事業（羽生病院等）など、可能な限り多くの仕事を受注し、会員の配置を工夫しながら行った事も成果の一部と思われます。

なお、派遣事業実績は 9,300,364 円となり、前年度の実績に対し 2,303,843 円の増額となりました。これも請負同様に新規企業との契約の成果とみられます。

以下、平成 30 年度事業活動内容

- ① PCB 安定器掘り起し調査 8 名就業
- ② 長瀬町シルバー人材センターへ「空き家を利用したミニデイサービス視察
- ③ 秩父市シルバー人材センターへ「シルバー農園」視察
- ④ 接遇講習会（1 回目）130 名参加（2 回目）100 名参加
- ⑤ 本庄市シルバー人材センターにて「ひまわり倶楽部」視察及び意見交換会
- ⑥ 街なか清掃 30 名参加
- ⑦ キヤッセ羽生清掃活動 80 名参加
- ⑧ 羽生市産業文化ホール小ホールにて、羽生市シルバー人材センター主催、羽生市後援にて埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科大西秀樹教授を招き「認知症にならないための日常生活」と題し、会員、市民を対象に開催いたしました。230 名の方々の来場を頂き、盛大に開催することが出来ました。

Ⅲ 平成 30 年度末集計結果は以下のとおりです。

- | | |
|----------|----------------------------------|
| ① 会員数 | 334 名 |
| ② 受託件数 | 3,471 件 |
| ③ 就業実人員 | 320 名 |
| ④ 就業延日人数 | 41,359 名 |
| ⑤ 就業率 | 95.8% |
| ⑥ 総契約金額 | 214,183,963 円(うち派遣分 9,300,364 円) |

平成の元号最後の年度に躍進することが出来たことも、市当局をはじめ発注者及び会員各位のご尽力・ご協力によるものと心よりお礼申し上げます。

なお、令和元年度も引き続きご協力下さいますようお願い申し上げます。